



三条北ロータリークラブ週報

真心の行動
慈愛の奉仕
平和に挺身

例会日
1996. 4 . 14
累計 No 459
当年 No 39

会長/味方義一
幹事/木宮 隆
SAA/稲田 憲治

国際ロータリー会長 ハーバード・G・ブラウン 第2560地区ガバナー 重田政信

例会日/火曜日 12:30~13:30
例会場/三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
事務局/三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972

行 事： 創立10周年記念式典〔スーパーセレモニー感謝の集い〕於グランドプラザVIP

出 席： 本日の出席 59名中56名

先々週の出席率 59名中52名 88.14% (前年同期90.74%)

先週のメイクアップ： 4月10日 三条RCへ 外山晴一さん

11日 加茂RCへ 高橋彰雄さん

13日 PETSへ 堀川正幸さん

会長挨拶： 味方義一

本日は三条市長様はじめご来賓の皆様、そして、第2560地区重田政信ガバナーをはじめ、地区役員の皆様、地区先輩ロータリークラブ多数の御臨席を賜り、三条北ロータリークラブ創立10周年「感謝のつどい」をこのように盛大に開催できますことは、クラブ全会員のこの上ないよろこびであり、心より感謝申し上げます。顧みますと当クラブは1986年当時ガバナー藤田説量様のもと三条クラブの多大なご尽力をいただき、中條耕二、梨本清一両会員の熱心な御指導により会員26名をもって1986年12月14日にクラブ創立の発会式を挙げました。

そして同年12月24日RI加盟の認承をいただき、翌年5月30日会員34名をもって認承状伝達式を挙行致しました。今でもあのチャーターナイトの思い出は深く、心に残っております。それから10年、先輩ロータリークラブの良き御指導と当クラブ歴代会長、そして会員のたゆまぬ努力と会員家族のご理解と地域のさまざまな人達の協力と助言をいただきながら私達はロータリーを教えられ、奉仕の理想を目指してまいりました。

おかげさまでこの10年間でロータリーアンとして自立できるだけの体力と知恵を授けていただきました。会員も58名となりました。私達は今までの歩みに感謝しなければなりません。

本日この感謝のつどいは、私達を育てていただいた皆様に感謝の気持が十分に伝わるように、私達の10年の歩みのまとめとなるように、そして次なる20周年、30周年への旅立ちの日として、なつかしい思い出となるように、全会員の総力を上げて開催するところであります。私達のクラブは自

由で楽しく、若さ溢れるクラブであります。

この記念すべき10周年の式典を迎へ、私達は新なる感激をもって、今まで以上の親睦と友情を図り、変化する世界と地域社会に目を見張り、耳をそばだて、そして勇気をもってロータリーの精神を実践し、我が北ロータリークラブ物語を書き続けてゆく所存であります。これからも、どうぞ厳しい御叱声と、暖かいご友情を賜りますよう、全会員を代表しまして、心よりお願いを致します。

本日はお忙しいところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございました。不行届きの点も多々あるかと思いますが、お詫び申し上げ、ご寛容の程お願い致します。本日はありがとうございました。心より感謝申し上げます。

ニコニコボックス：	14日現在累計 997,576円
-----------	------------------

イライラボックス：	14日現在累計 10,000円
-----------	-----------------

10周年実行委員会元副実行委員長 丸山誠一

おかげ様で10周年「スーパーセレモニー・感謝の集い」会員の皆様、いかがでしたでしょうか、と同時にたいへんお疲れ様でした。

企画、シナリオにつきましては、当初の60%は実行することができたのではないかと考えております。記念セレモニー、パーティー部門の委員会では、会員の皆様からの確なご助言、心あたたまるご意見をいただき、実行委員会と致しましては当日出席者340名、すべての立場にできる限りなあって、企画させていただきました。

なかでも、記念セレモニーでは期待の150%を実行していただき、素晴らしい司会の長谷川恵慈さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。

記念パーティーでは、素晴らしいセンスをお持ちの梨木建夫さんの、なみなみならぬご努力により、チョット心配だった料理は150点、たいへんおいしく素晴らしいの一言でした。北鼓隊も梨木さんのお声がかかりで誕生し、当初の目的を150%くらいははたせたのではないかと思います。お疲れ様でした。ありがとうございました。

5月14日は、私の卓話となっておりますので「スーパーセレモニー・感謝の集い」の中で、裏話も含めてお話しさせていただきたいと思っております。

最後に感想を一言、

こんなに楽しくて、意思疎通のとれたクラブは、おこがましいですがどこのクラブにも負けないと思います。この10年の間に、連帯感と、ジェネレーションを越えた強い友情のきずながはぐくまれてきたことを実感させられました。

これからも、ほんとうの意気込みと、多くの皆様のあたたかいご支援、励ましにより我がクラブは、成長し続けていくことと思います。

「皆様、ほんとうにありがとうございました。」

北鼓隊の皆さんありがとう。 長谷川博一

わがクラブ10周年の記念セレモニーが、実行委員長はじめ多くの方々の努力と協力をもって4月14日、盛大にとりおこなわれた。

なかでも北鼓隊による太鼓は参加者に大きな感銘を与えたと思う。二次会の席でその労に報いるべく私が声をかけ、前に出ていただいた。疲れた顔も見せず、元気に感想等ものべていただいた。

毎週木曜日、2時間、20回もの練習を重ねた成果は充分に出ているように思う。皆んなの一致した気合いと、バチさばきの中にそのことがよくあらわされていた。その中よりあの迫力が出てきたのだろう。吉川リーダーの様子を皆んなが見ながら意気を合わせていたように見えた。だんだん太鼓の音が大きくなって盛りあがり手が疲れてきていると思うのに、そのまま休まないで連続で、だんだん小さくするように太鼓をたたいてゆく。手がそうとう疲れ、いたくなるだろうと思い、聞いてみたら、やはり、手というより、腕がいたんだと言っていた。

吉川さんの奥さんに聞いてみたところ、腕もいたい、背中もいたみ、背中に小さいサロンパスをはっていたのが間に合わず、そうとう大きなサロンパスを背中一面に張ったと言っておられた。さすがに、吉川さんは二次会の時、疲れはてた様子でげんなりとしていた。吉川さんだけでなく全員つかれたことでしょう。いや、本当にごくろうさんでした。又、機会を見て、私達に勇壮な北鼓太鼓を見せて下さい。

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |

4月23日例会： 通常例会 堀川正幸次年度会長のメッセージ、
ロータリー情報ワンポイントスピーチ

4月30日例会： 通常例会 外部卓話「これからの商品造りについて」
(竹内快速鋸代表取締役竹内英治様)

5月7日例会： 通常例会 会員卓話 馬場直次郎会員 ロータリー情報ワンポイントスピーチ

5月14日例会： 通常例会 会員卓話 丸山誠一会員 ロータリー情報ワンポイントスピーチ

5月21日例会： 通常例会 クラブフォーラム 地区協議会報告会

